

# 経営戦略と事業戦略

## ■ 戦略について

弊社グループでは、戦略の定義をMichael.E.Porter(1979)より、競争優位に立つことと位置づけています。会社および個人として電機業界で競争優位に立つため、経営理念・経営ビジョンから、経営戦略・事業戦略・事業戦術・後方支援計画、さらには個人戦略にわたるまで一つの系統で運用される、経営戦略が実務にいたるまで首尾一貫して展開されるシステムを導入しております。

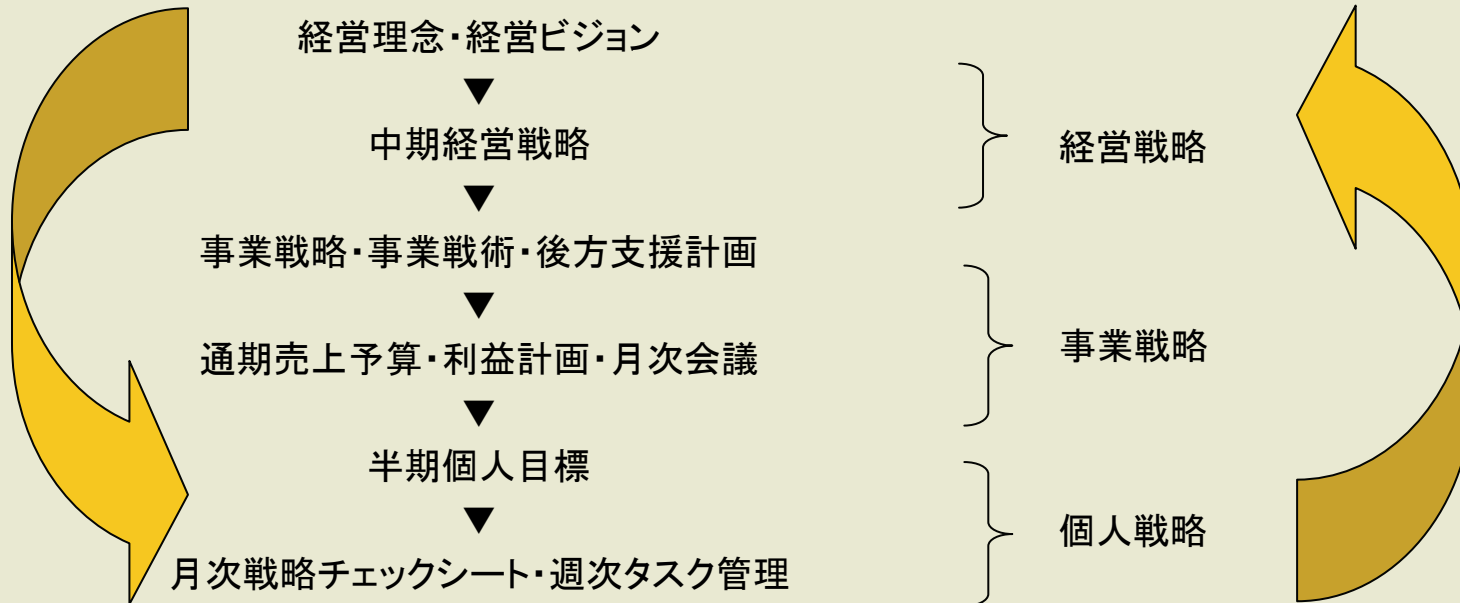
## ● 経営戦略・事業戦略

経営理念・経営ビジョンにもとづき、中期の弊社グループにおける方向性を定める中期経営計画(3年に1回)が経営戦略として策定されております。その経営戦略を達成するために、各会社および各部門において、お客様、市場、製品、売上、開発などの具体的な要因にもとづき、事業戦略(3年に1回)が策定されております。

また、事業戦略にもとづき、通期売上予算と利益計画(1年に1回)が策定され、定期的な会議の開催により、月次レベルにて事業戦略を管理可能なフォローアップ体制が確立されております。

# 経営戦略と事業戦略

## ● 戦略策定の体系



# 経営戦略と事業戦略

## ● 技術戦略の視点

技術的な差別化戦略に着目し、弊社の独自技術力によるニッチ製品の開発および製造を積極的に推進し、お客様とともにイノベーション(innovation)を創発できるよう注力しております。

## ● 営業戦略の視点

地域別組織の密着型営業と既存取扱商品を基軸としながら、弊社グループの技術力で独自に開発された新製品を販売することにより、既存取扱商品とのクロス・セリング(cross sailing)が可能となりました。その結果、従来に比べて幅広い商品群および技術的なサービスをお客様へ提供できようになり、さらなるお客様満足の向上が可能となりました。

## ● 管理戦略の視点

後方支援部門として受注から納品、回収までを一元管理するVCM (Value Chain Management)を導入し、従来バッチ管理であった入力業務などが自動化され、結果として受注入力や出荷などのミス的大幅な低減が実現されております。これらの成果にとどまらず、後方支援部門においては、あくなき管理業務の合理化、効率化、QC活動による改善が推進され、お客様満足度の向上を具現化しております。